

2021年10月25日

小金井市市長 西岡 真一郎様

小金井・生活者ネットワーク 代表 田頭祐子
小金井市前原町 3-40-1
TEL 042-387-1068



**都市計画マスタープランの道路整備の方針に、
東京都へ優先整備路線 2 路線の見直しを要望することを求める申し入れ**

2021年5月に、小金井市都市計画マスタープラン中間報告（案）に対する意見及び検討結果が公表されました。意見提出者は243人、意見数は332件と、前回平成24年に実施したパブコメへの意見数（3人・11件）とは比較にならないほど多数の意見が寄せられました。意見の内訳は、都市計画道路に関しての意見が83%を占め、その内約95%は道路整備に否定的な意見でした。2016年3月に都が公表したパブリックコメントの結果や、2020年の3,000人アンケート結果でも民意は明らかです。市は中間まとめパブコメ結果を「**重く受け止め、必要となる修正を行っていく**」とし、11月24日に予定されている第8回都市マス策定委員会で修正案を示すとしています。

西岡市長は2015年12月の市長就任以降、第4次事業化計画で優先整備路線に選定された2路線について、「**現行の都市マスを尊重する**」との態度でしたが、2019年12月の市長選では「**市民が望まない道路は作らせない**」を選挙公約として市民へアピールし、再選されました。道路建設に否定的な多くの市民が、西岡市長が計画に反対しているという認識で投票したことは間違いありません。今回のパブコメ結果で、市民の理解が得られていないことは一目瞭然です。市長が東京都へ出した要望書の内容（「**建設の是非を含め、市民の理解が十分であるとは言えない状況であり、現時点では事業化に賛同いたしかねます。（中略）私、小金井市長が了解できない状況下での事業化は進めないよう求めます**」）を都市マスに反映させることは、当然のことです。そうでなければ、市長に投票した市民に説明が付きません。

小金井・生活者ネットワークは、市民の意思を反映させるために、下記を強く求めます。

「都市計画マスタープランに当該2路線の見直しを東京都へ要望すると明記すること」

文案：優先整備路線 3・4・1 号線および 3・4・11 号線は、国分寺崖線のみどりや野川等の自然環境に影響を与える可能性があり市民の関心が極めて高いため、計画の見直しを東京都に要望します。

以上。